

# Osaka Metroの方針・規程の体系

Osaka Metroでは、安全を確保するための基本的な方針を定めています。

## 方針・規程の体系

Osaka Metroでは最上位の方針となる「企業理念」のほか、「企業理念」を実現するための行動をまとめた「行動指針」を策定していましたが、コンプライアンス意識の醸成、浸透を図るためのルールをまとめた「行動規範」を今年度新たに設けました。全てのお客さまに地下鉄・ニュートラムを安心・信頼してご利用いただくために、輸送の安全確保に関する規範として「綱領・一般原則」並びに「安全方針」を定め、その理念を確立することを、安全を確保するための基本的な方針としています。



方針・規程の体系（イメージ）

**Osaka Metro Group**

### 企業理念

私たちは、最高の安全・安心を追求し、誠実さとチャレンジ精神をもって、大阪から元気を創りつづけます。

Osaka Metro Groupは、交通を核にした生活まちづくり企業へ変革していきます。

### 行動指針

1. 私たちは、誇りと責任をもって、お客さまと地域の信頼に応えます。
2. 私たちは、自ら考え、実行し、結果にこだわります。
3. 私たちは、二週に先回りし、いち早く応えます。
4. 私たちは、日々、新しい発想をもって進化します。
5. 私たちは、互いを信頼・尊重し、共に成長します。
6. 私たちは、笑顔と楽しさを大切に、これらの行動を続けることで、お客さまに選ばれた存在になります。

企業理念・行動指針

**Osaka Metro Group**

### 行動規範

**約束**  
私たちは、不正やハラスメント等の不適切な行為が起こらないようにするため、「偽らない」、「隠さない」、「他人のせいにならない」、「他人事としない」、「見て見ぬふりをしない」ことを約束します。

**基本精神**

1. 私たちは、法令や諸規則、社会規範等を正しく理解し、遵守します。
2. 私たちは、互いの人間性を尊重し、誠実・公正に業務を遂行します。
3. 私たちは、社会的責任と公共的使命を自覚し、信頼の確保に努めます。

**1. お客さまのために**  
・安全はすべてに優先します。  
・安心・満足いただける高品質なサービス・商品を提供します。  
・個人情報等の取扱いには細心の注意を払い、適切に管理します。

**2. 社員のために**  
・快適で安全な働きやすい職場環境を確保します。  
・ハラスメントの無い健全な職場を目指します。

**3. 取引先等に対して**  
・関係法令に前置し、公正・適正な取引を行います。  
・社会企業として適切な役割を担い、関係ある関係を保ちます。  
・社会的勢力には毅然として対応します。  
・第三者の知的財産権を侵害しないよう最善の注意を払います。  
・互いを信頼し「偽らない」「隠さない」の取組を徹底して行います。

**4. 会社のために**  
・会社が保有する資産の保全・情報の管理を徹底します。  
・業務の内外に限らず、会社の信用を失墜させる行為は厳に慎みます。

**5. 株主(投資家)のために**  
・正しい会社情報の適時・適切な開示を徹底します。

**6. 社会のために**  
・差別のない社会を目指します。  
・地球環境の保全に配慮します。

行動規範

### 運転の安全の確保に関する規則

**綱領**

- ・安全の確保は、輸送の生命である。
- ・規程の遵守は、安全の基礎である。
- ・職務の厳正は、安全の要件である。

**一般原則**

- 1 規程の遵守  
従業員は、この規程及び運転の取組に関する規程を常に遵守しなければならない。
- 2 規定の理解  
従業員は、運転の取組に関する規定をよく理解して行わなければならない。
- 3 規定の遵守  
従業員は、運転の取組に関する規定を忠実に守らなければならない。
- 4 作業の理解  
従業員は、運転又は乗務業務の取組に習熟するように努め、その取組に誤りがあるときは、最も安全と思われる方法により作業しなければならない。
- 5 乗組の徹底  
従業員は、作業にあたり関係者との連絡を徹底し、打合せを正確に行い、且つ互いに協力しなければならない。作業に異常があったときは、特に注意しなければならない。
- 6 乗組の適行  
従業員は、作業にあたり必要な確認を厳格に行い、おく測による作業してはならない。
- 7 運転状況の熟知  
従業員は、自己の作業に関係のある列車又は車両の運転時刻を知っていなければならない。
- 8 設備の健全  
従業員は、車両、軌道、電車線、信号保安装置等を常に安全な状態に保持しなければならない。危険な箇所を発見したときは、速やかに整備の手配をしなければならない。
- 9 時計の厳正  
従業員は、職務上使用する時計を常に正確に合わせなければならない。
- 10 事故の防止  
従業員は、協力一助して事故の防止に努め、お客さま等に危害を与えないよう注意を怠らなければならない。
- 11 事故の発生  
従業員は、事故が発生した場合は、その状況を冷静に判別し、すみやかに安全な状態をとり、特に人命に危険が生じたときは、全力をつけてその救助に努めなければならない。この場合、事故の発生に関与した従業員は、職務のいかんを問わず全力をあげて協力しなければならない。

綱領・一般原則

### 安全方針

私たちは「安全はすべてに優先する」との強い決意を持ち、一丸となってお客さまに安心・信頼してご利用頂ける輸送サービスを提供します。

- 1 法令及び規定を熟知し、遵守します。
- 2 冷静に状況を判断し、最も安全と認められる行動をとります。
- 3 おく測に頼らず、確認の励行に努めます。
- 4 情報の共有に努め、事故の未然防止に努めます。
- 5 事故・災害の発生時には、お客さまの救護を最優先に行動します。
- 6 常に業務の継続的な改善に努めます。

2018年4月 代表取締役社長 河井英明

安全方針

### 企業理念

会社の経営や活動に関する基本的な考え方、「価値観」、「会社の存在意義」を示したもの

### 綱領・一般原則

鉄道事業に従事する者が常に心にとどめて忘れてはならない「規範」を示したものの

### 安全方針

安全を確保していくための「社員の安全行動の指針」を示したものの

### 安全管理規程

安全を確保するための規程(安全管理体制と各管理者の役割と責務を明記)

### 行動指針

企業理念を実現するための具体的な考え方や行動を示したものの

### 行動規範

組織が守るべきルールをまとめたもので、コンプライアンス意識の醸成、浸透を図るもの